

## 無症候性高尿酸血症の治療

## 2) 高血圧の合併について

## Treatment for an asymptomatic hyperuricemia with hypertension

東京慈恵会医科大学総合診療内科 教授

Iwao Ohno 大野 岩男

## Key Words

高尿酸血症，無症候性高尿酸血症，  
高血圧，メタボリックシンドローム，  
慢性腎臓病

## Summary

ヒトの研究において，高尿酸血症は高血圧の発症と密接に関連することが明らかとなってきている。これをふまえて，以下に高血圧を合併した高尿酸血症患者の治療方針を示す。

- ①高血圧合併高尿酸血症患者に対しては，高尿酸血症の発症に関連する生活習慣を同時に改善するために，まず生活指導を行う。
- ②薬物療法は血圧管理を優先し，可能な限り尿酸代謝に悪影響を及ぼさない降圧薬を優先して用いることが望ましい。
- ③生活指導ならびに尿酸代謝に好ましい降圧薬を用いても，血清尿酸値が8.0mg/dL以上の場合は，尿酸降下薬の投与開始を考慮する。治療中の血清尿酸値は6.0mg/dL以下に維持することが望ましい。
- ④原則として尿酸降下薬の選択は病型分類に基づいて行うが，腎障害の程度，肝障害の有無によって治療薬，投与量を慎重に決定する。また，尿pHの測定を行い，尿アルカリ化薬併用も考慮する。

## 1 高尿酸血症と高血圧の関連

ヒトの研究において高尿酸血症は高血圧の発症と密接に関連することが明らかとなってきている。

高尿酸血症と高血圧に関する疫学研究では，Perlsteinらはthe Normative Aging Study[1,277人中508人(39.8%)]が10.3±5.5年の経過で高血圧になった縦断研究]において，各種因子で補正しても，血清尿酸値は高血圧の発症と有意に関連していたと報告している<sup>1)</sup>。さらに，Gaffoらは高血圧のない4,752人の若年成人を用いた20年の観察研究において，高尿酸血症は独立して高血圧の発症に関連しており，特に男性においては血清尿酸値1 mg/dLの上昇は高血圧発症のハザード比(HR)を25%上昇させるとしている(図1)<sup>2)</sup>。また，Zhangらは中国人の前向きコホート研究において，エントリー時に高血圧のない7,220人を4年間追跡し(男性の19.0%，女性の11.0%が高血圧を発症)，血清尿酸値は高血圧の発症に関連することを報告している<sup>3)</sup>。このなかで高血圧発症の相対危険度は，血清尿酸値が高いほど，メタボリックシンドロームの構成要素数が増えるほど増加することを示しており，血清尿